



2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月10日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 I R 経営企画室長 (氏名) 川島 祐二 TEL 03-5493-5629
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 2020年4月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	8,702	△2.8	75	△85.7	119	△79.1	68	△81.3
2019年8月期第2四半期	8,956	1.8	530	△11.6	571	△9.0	362	△9.5

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 111百万円 (△68.1%) 2019年8月期第2四半期 348百万円 (△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	3.31	—
2019年8月期第2四半期	17.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期第2四半期	24,790	17,234	69.5	838.77
2019年8月期	23,394	17,349	74.2	844.34

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 17,234百万円 2019年8月期 17,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	6.00	—	11.00	17.00
2020年8月期	—	6.00	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	8.50	14.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

連結業績予想については、第3・4四半期における新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明であり、当社の業績に与える影響等の予測が困難であることから、2019年10月11日に公表いたしました業績予想を一旦取り下げ未定とする旨を2020年3月19日に公表しております。予想数値が確定次第、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期2Q	21,302,936株	2019年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	755,152株	2019年8月期	754,713株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期2Q	20,548,044株	2019年8月期2Q	20,548,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調に推移する企業収益を背景に雇用、所得環境の改善が続いたものの、長期化する米中貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大等、海外経済の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、当アパレル・ファッション業界におきましては、気象災害及び記録的な暖冬の影響等に加え、消費増税による消費マインドの冷え込み、更には新型コロナウイルス感染症による影響等も懸念され、今後も予断を許さない状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループは2017年8月期を以って構造改革を完了し「ハードからソフトへの変革」のもとブランディング型ビジネスの確立に向け次なるステップへ舵を切っております。全ては顧客起点で商品・ブランドの強みや付加価値を構築し、その“新しい価値”を継続的に創造できる企業を目指し、それを“新しいつながり方”でお客様へ提供することで会社の持続的な成長を目指しております。

基幹事業である「クロコダイル」は、販売開始から半世紀以上が経ち、現在のGMSにおける自主管理型売場の展開から20年の経過を機に、改めて原点である顧客起点に立ち返り「現在のプレミアム エイジ (60~75歳) 層」という既顧客の満足度向上と再活性に繋がる価値を創造してまいります。同時に潜在顧客となる「これからのプレミアム エイジ層」が興味を持ち共感できる価値を創造し、その“新しい価値”を“新しいつながり方”で提供することで「集客の拡大」と「利益の拡大」を目指してまいります。

新規事業では、“アクティブ・トランスファー・ウェア”をテーマとした「CITERA (シテラ)」と米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」を展開しております。ブランドの顔となる商品開発に注力するとともに、「集客の拡大」に向けた新しいファンクションやサービスへの投資を積極的に行い、WEBマーケティングやPop-upストアの展開を筆頭に、当社が直接運営する事業に加え、国内外のライセンス展開も目指す等、新たなブランディング型ビジネスを確立してまいります。また、日本国内における商標権を取得したハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、従来のライセンスパートナーによる専門店向け卸に加え、新たなパートナーと共に立ち上げたトップライン「Lightning Bolt Black Label (ライトニングボルトブラックレーベル)」によるブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに、新たに導入した自動ソーターが本格稼働し始める等、積極的な投資を行うことで更なる業務の生産性向上を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上が87億2百万円（前年同期比2.8%減）と減収になりました。利益面では、売上総利益率は42.1%（前年同期比3.2ポイント減）となり、販売費及び一般管理費については35億9千2百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は7千5百万円（前年同期比85.7%減）、経常利益は1億1千9百万円（前年同期比79.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千8百万円（前年同期比81.3%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業85億4千4百万円（前年同期比2.9%減）、不動産賃貸事業1億5千7百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は124億5千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億1千1百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が1億2千1百万円増加したことによるものがあります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は75億2千5百万円から11億9千9百万円増加し、87億2千4百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は123億3千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億8千3百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が1億2千4百万円、投資有価証券が1億6千3百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は247億9千万円となり、前連結会計年度末と比べ13億9千5百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は65億6千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億4千3百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が18億8千1百万円増加し、支払手形及び買掛金が9千2百万円、未払法人税等が8千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は9億8千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ3千3百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が4千3百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は75億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億1千万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は172億3千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1千4百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金が1億5千8百万円減少し、その他有価証券評価差額金が4千3百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は69.5%（前連結会計年度末は74.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、第3・4四半期における新型コロナウイルス感染症の見通しが不透明であり、当社の業績に与える影響等の予測が困難であることから、2019年10月11日に公表いたしました業績予想を一旦取り下げ未定とする旨を2020年3月19日に公表しております。

予想数値が確定次第、速やかに公表いたします。

また、当期の配当金につきましては、通期の連結業績予想が確定後、修正が必要な場合は「年間配当金12円以上を前提に配当性向70%以上の安定配当」の基本方針に則り、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,768,636	6,319,807
受取手形及び売掛金	1,603,984	1,431,590
有価証券	2,756,956	2,404,971
商品及び製品	2,059,932	2,180,987
仕掛品	—	231
その他	158,081	121,420
貸倒引当金	△2,041	△1,781
流動資産合計	11,345,550	12,457,227
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,457,723	1,423,475
機械装置及び運搬具(純額)	631	146,056
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産(純額)	15,881	30,453
建設仮勘定	21,936	69
その他(純額)	97,591	118,232
有形固定資産合計	6,772,832	6,897,355
無形固定資産	111,354	110,470
投資その他の資産		
投資有価証券	4,711,203	4,874,974
差入保証金	114,964	112,092
退職給付に係る資産	170,491	213,285
繰延税金資産	79,924	38,959
その他	121,457	118,837
貸倒引当金	△32,849	△32,840
投資その他の資産合計	5,165,192	5,325,308
固定資産合計	12,049,379	12,333,133
資産合計	23,394,930	24,790,360

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	755,231	662,870
電子記録債務	2,927,244	4,808,548
1年内返済予定の長期借入金	229,372	183,372
未払法人税等	155,383	68,035
賞与引当金	89,342	84,288
返品調整引当金	13,000	10,000
ポイント引当金	4,511	4,880
その他	851,824	747,501
流動負債合計	5,025,909	6,569,496
固定負債		
長期借入金	735,585	691,899
資産除去債務	47,534	46,888
その他	236,158	247,254
固定負債合計	1,019,277	986,042
負債合計	6,045,186	7,555,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	7,501,255	7,343,252
自己株式	△363,450	△363,627
株主資本合計	17,044,149	16,885,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,337	305,620
繰延ヘッジ損益	△11,396	△2,682
退職給付に係る調整累計額	54,653	45,914
その他の包括利益累計額合計	305,594	348,852
純資産合計	17,349,743	17,234,822
負債純資産合計	23,394,930	24,790,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	8,956,882	8,702,066
売上原価	4,904,248	5,037,347
売上総利益	4,052,633	3,664,719
返品調整引当金戻入額	15,000	13,000
返品調整引当金繰入額	11,000	10,000
差引売上総利益	4,056,633	3,667,719
販売費及び一般管理費	3,526,078	3,592,010
営業利益	530,555	75,709
営業外収益		
受取利息	9,358	8,872
受取配当金	19,791	20,547
為替差益	1,247	1,939
その他	18,755	16,349
営業外収益合計	49,152	47,708
営業外費用		
支払利息	3,527	3,475
貸倒引当金繰入額	4,500	—
その他	149	262
営業外費用合計	8,177	3,737
経常利益	571,530	119,680
特別損失		
固定資産除却損	708	581
特別損失合計	708	581
税金等調整前四半期純利益	570,821	119,098
法人税、住民税及び事業税	134,925	29,179
法人税等調整額	73,029	21,891
法人税等合計	207,954	51,070
四半期純利益	362,866	68,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	362,866	68,027

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	362,866	68,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,695	43,283
繰延ヘッジ損益	4,709	8,713
為替換算調整勘定	6,845	—
退職給付に係る調整額	197	△8,738
その他の包括利益合計	△13,942	43,258
四半期包括利益	348,924	111,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,924	111,285
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	570,821	119,098
減価償却費	114,358	99,005
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	△3,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	149	369
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,778	△268
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△42,192	△42,793
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,932	△5,054
受取利息及び受取配当金	△29,149	△29,420
支払利息	3,527	3,475
為替差損益 (△は益)	△602	△174
固定資産除却損	708	581
売上債権の増減額 (△は増加)	171,595	172,394
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△292,230	△121,286
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,043,229	1,788,942
その他の資産の増減額 (△は増加)	86,640	46,563
その他の負債の増減額 (△は減少)	26,193	△17,876
その他	358	△12,453
小計	1,650,254	1,998,104
利息及び配当金の受取額	25,295	25,334
利息の支払額	△3,543	△3,203
法人税等の支払額	△100,162	△113,772
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,571,844	1,906,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,311	△283,951
有形固定資産の除却による支出	△60	△353
無形固定資産の取得による支出	△840	△3,479
投資有価証券の取得による支出	△102,287	△102,707
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,626	757
差入保証金の差入による支出	△17,737	△147
差入保証金の回収による収入	—	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,609	△389,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△187,686	△139,686
自己株式の取得による支出	△115	△176
配当金の支払額	△267,133	△226,030
その他	△4,499	△1,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259,434	△317,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,282	174
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,169,083	1,199,185
現金及び現金同等物の期首残高	6,924,609	7,525,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,093,693	8,724,778

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を8年に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,799,620	157,262	8,956,882	—	8,956,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,799,620	157,262	8,956,882	—	8,956,882
セグメント利益	785,949	87,508	873,457	△342,902	530,555

(注)1. セグメント利益の調整額△342,902千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,544,374	157,692	8,702,066	—	8,702,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,544,374	157,692	8,702,066	—	8,702,066
セグメント利益	368,492	87,486	455,978	△380,269	75,709

(注)1. セグメント利益の調整額△380,269千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。